

6 計画の達成状況の評価

(1) 目標の達成状況や社会情勢の変化に伴う計画の見直し

「須賀川市地域公共交通網形成計画」の推進にあたり、シェアリングエコノミーの仕組みによる移動手段の確保や自動運転等の先進技術の開発など、法令や施策、技術革新などの「人の移動」に関する社会情勢は大きく変革することが予想され、その時々への対応が求められる。

このため、社会情勢を踏まえ、目標の達成状況や利用状況などを評価し、必要に応じて見直し、改善する「PDCAサイクル」の仕組みにより進行管理を実施し目標の達成を目指す。

本計画のPDCAサイクルの実行は、「須賀川市総合交通活性化協議会」において実施し、施策に係る全ての関係者（市民、交通事業者、行政など）が施策効果の検証結果を共有する。

なお、評価・検証については、「毎年実施するPDCA」と、「計画の中間年度と最終年度に実施する目標達成度に対するPDCA」による二重の組み合わせで進行管理を行う。

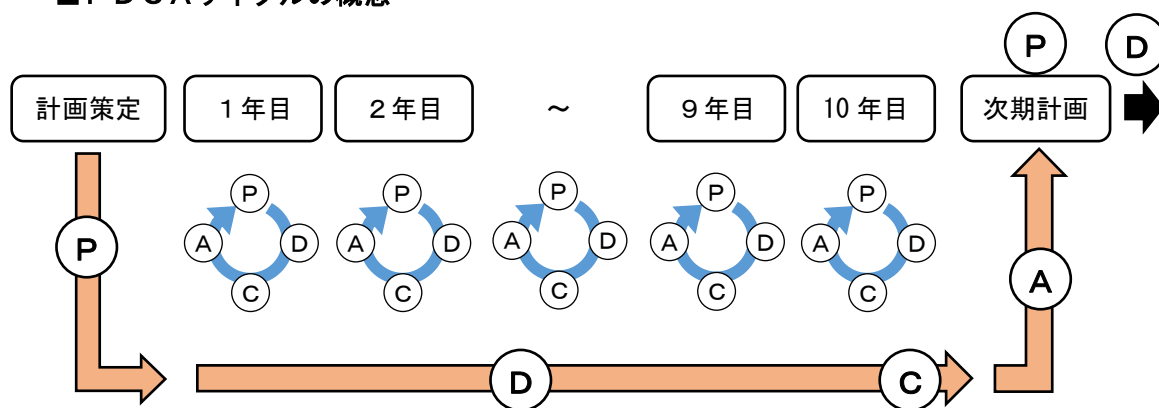
○事業実施状況の評価（年に1回実施）

：公共交通への取り組みや運行状況について、「利用者数」「整備箇所数」「導入台数」などの実施状況を毎年度実施し、評価する。

○目標達成度の評価（概ね5年に1回実施）

：計画の目標値との比較により、事業の達成状況を検証する。但し、公共交通の利用ニーズや利便性は、主な目的地である商業施設・病院等の整備、道路改良などのハード整備による周辺状況の変化に影響を受けやすいため、利用状況やニーズなどを把握・分析し、必要に応じて見直し・改善を図る。

■PDCAサイクルの概念



■各PDCAサイクルの概要

項目	目標達成度の評価（概ね5年に1回実施）	事業実施状況の評価（年に1回実施）
P（計画）	須賀川市地域公共交通網形成計画の策定	各路線等の運行計画の策定 各種施策の実施計画策定
D（実行）	計画に掲げる各種施策の実施	地域公共交通の運行 各種施策の実施計画展開
C（評価）	各種施策の実行による効果（目標値の達成状況）の評価	運行・利用状況の評価 施策実施効果の評価
A（改善）	須賀川市地域公共交通網形成計画の見直しの検討	運行の見直し 各種施策の見直し

(2) 評価の方法及びスケジュール

計画期間におけるPDCAサイクルの具体的評価スケジュールと、検証するための調査概要は次の通りとする。

本計画の評価は、中間年度（2023年度）と、最終年度（2028年度）の前年度に事業者からの提供による利用実績や各種アンケート調査などを行い、最終年度に計画全体及び公共交通網の評価を実施し、実施事業の見直し及び新たな事業を追加し、次期計画を策定する。

公共交通機関の利用状況や本計画に定めた事業の実施結果に関する評価については、毎年度実施するものとする。

■評価スケジュール

(年度)

項目		2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
関連調査 評価方法	利用者数実績・整理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	市民アンケート調査					○				○	
	バス利用者利用実態調査					○				○	
事業実施の評価		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
計画（目標達成度）の評価						○					○
計画・目標値の見直し											○
須賀川市総合交通活性化協議会の開催		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■関連調査概要

区分	調査方法等	主な調査項目
市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> 対象者：16歳以上の市民（住民基本台帳から無作為抽出） 調査方法：郵送配布、郵送回収 	<ul style="list-style-type: none"> 回答者属性（性別、年齢、職業等） 公共交通（鉄道、路線バス、タクシー）に対する利用実態や満足度、改善点 公共交通の効果的な取組み
バス利用者利用実態調査	<ul style="list-style-type: none"> 対象者：市内で運行中の全路線バス（路線バス、市内循環バス） 調査日時：平休日各1日、全便（始発から終発） 調査方法：バスの乗客へ調査票を渡し、乗客自身が調査票の該当箇所を折り込むアンケート方式 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者属性 利用特性（利用目的、利用頻度など） 運行サービスの満足度と改善して欲しいサービス